

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-1154
施設名	野のゆり保育園
施設所在地	東京都目黒区大橋2-15-12
法人名	社会福祉法人双葉の園

年間テーマ 表現

1. 活動のテーマ

<テーマ>

4月～6月 表現 出会いを楽しむ。様々な素材に触れたり、ものを作ったりすることを通して自分の興味や関心に基づく遊びを遊び込んだり、作ったものなどをきっかけに友だちと遊んだり関わることを楽しむ。

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

- ・一人でじっくり向き合える素材、その素材それぞれの感触や面白さを楽しむ。
- ・素材の使い方を子ども自らが発見する。

2. 活動スケジュール

- ・活動…月2～4回の木曜日9：30～12：00頃まで
- ・事前打ち合わせ…毎週火曜日17：00～17：30 材料や環境設定について
- ・毎回活動後に講師と幼児クラス担当保育者が振り返る…活動日の13：45～14：30

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

活動内容により、毎回テーブルの配置、材料の置き方などの打ち合わせをする。

素材や道具…ポリ袋 新聞紙 紙粘土 はな紙 紙テープ 画用紙 模造紙 でんぷんのり
スポンジ パステル ポスターカラー 筆 透明カップ プラスチックスプーン スポイト
カラーセロハン モール トイレットペーパー 豆乳 リボン 石鹼 食紅 洗濯のり
クエン酸 はさみ ホッチキス 割ピン ボンド 穴あけパンチ 牛乳パック 折り紙 油性ペン

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

・ 大小のポリ袋に空気を入れて風船のような物を作り、飛ばしたり、乗ったりしてゴム風船とは違う手触りや空気を感じる。 ・ 花紙、紙テープを水で溶いたでんぷん糊を使って貼ったり丸めたりする。 ・ チョークを削った色の粉にシャボン液を加え色付のシャボン玉を作る。 ・ 発泡スチロールトレイや牛乳パックなどに絵を描いたり、素材を組み合わせプールやタライに浮かせる。 ・ 食紅で色を付けた寒天をなでたり握ったり型抜きをする。 ・ 食紅の色水を白い羊毛糸にふりかけて毛糸を染める。 ・ 藍の葉、ハーブ、野菜の皮、茶葉を使い色水を作る。 ・ 片栗粉に液体石鹼や固形石鹼を削った粉を混ぜて石鹼粘土を作る。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

・ 空気の入ったポリ袋を抱きしめたり、空気の抜ける面白さを味わう。傘袋の長さを変えて「キャンディーみたい」「クラゲみたい」「ワンちゃんみたい」と見立てる。 ・ すずらんテープは斜めに貼ったり、輪にしたり、袋につけたりする。 ・ シャボン玉ではアルミホイールの上でシャボン液を混ぜたりブクブクと吹き泡が立つのを面白がる。シャボン玉液で絵を描き光にかざして泡が透けることに気付く。 ・ 水で溶いたでんぷんのりに紙テープを入れ、色水を作ると「ジャムみたい」「おいしそう」と声があがる。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

・3歳児クラスは初めてのアートのじかんを心待ちにしており、始まると夢中になって参加し、じっくりと取り組んでいた。・ポリ袋の活動では回を重ねると凧になり、公園で凧揚げをするなど、3歳児クラスにとって参加しやすいプログラムだった。・藍の種を植える活動ではやわらかい土作りをしながら幼虫を見つけ、虫好きの友だちとの会話が弾んだり、種を蒔いた後は、立て札を作ったりと芽が出る期待感が生まれた。このまま植物を育てることに興味を持ち続けてほしいと思う。

2. 活動のテーマ

<テーマ>

7月～9月 発見 様々な素材や植物に触れながら、形や線、色、光、音などの事象やその変化に気づく。

<2テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

- ・作ったものをきっかけとして友だちと遊んだり関わることを楽しむ。
- ・自分の興味や関心のある活動を繰り返し行い素材や道具を自ら選んで用い、試し工夫することを通して表現する。

2. 活動スケジュール

- ・活動…月2～4回の木曜日9：30～12：00頃まで
- ・事前打ち合わせ…毎週火曜日17：00～17：30 材料や環境設定について
- ・毎回活動後に講師と幼児クラス担当保育者が振り返る…活動日の13：45～14：30

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

毎回活動内容により、テーブルの配置、材料の置き方などの打ち合わせをする。

素材や道具…色画用紙 折り紙 カラーセロハン紙 包装紙 プラスチック段ボール お花紙 豆乳 トイレットペーパー リボン モール 発泡トレイ 牛乳パック ペットボトル 石鹸 シャボン液 絵具 食紅 糸 洗濯のり クエン酸 ポスカなどのペン類 はさみ ホチキス ボンド でんぷんのり 穴あけパンチ 割ピン クリップ 筆 パレット 金槌 懐中電灯

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

・チョークを削って粉にし、糊を混ぜて絵具を作る。・ペットボトルの中にカラーセロハン紙やお水を入れてうごかしたりライトを使って光を当てる。また、ペットボトルの中に素材を入れて光を当ててみる。・発泡トレイに絵を描いたり、ピニールテープで装飾して、プールに浮かせてみる。・食紅で色をつけた寒天を握ってつぶしたり、切ったり、型抜きをして感触を楽しむ。・片栗粉や水、液体石鹼、固形石鹼を削った粉で粘土を作る。・育てた藍の葉を摘み布の上にのせて金槌で叩いて染める。また、ちぎった葉をすり鉢に入れ、揉んだりして色水の液を作り生葉染めをする。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

・素材を目一杯詰める子、量をたくさん作る子など思い思いにペットボトルに素材を入れる。・ペットボトルの素材の動きに注目し、色の層を作る。暗い場所でライトを当てると「人形劇ができるね」などアイデアを出す。・発泡トレイを水に浮かべると、船でインドに宝石を運ぶ設定になる。また、スプーンを人に見立て物語ができる。・色の寒天では細かくして感触を楽しんだり、混ぜ合わせるなどする。・それぞれが見立てる。「モズク見たい」「実験、実験、何色になるまな?」「お豆腐みたい」など。・片栗粉を混ぜ、それを手に塗り「オオカミ!」と言い「七ひきの子やぎ」を思い浮かべる。・藍染めは、葉をどのように布に置くか考え、金槌で叩く。「やさしくトントンするんだよ」「だんだん色が出てきた」など、こつをつかむまで集中して打つ。





5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

・ 幼児クラスが園庭でチョークを削っている様子を見ていた子どもたちが、幼児クラスに上がり、チョークを削ることに夢中になる。アートのじかん以外でもチョークを削って色の粉を作る。そこからチョークを削った粉を使う活動につながった。"自分だけの色をつくる"ことを楽しむ。友だちが作った色を「どうやったらできるの?」と聞き合う姿があった。寒天やペットボトルの活動でも、色が混ざり合って、違う色に変わっていくことに興味、関心を持っている。その中で見立てながら、ごっこ遊びをしたり物語を作ったり、異年齢で関わっている様子がある。

3. 活動のテーマ

<テーマ>

10月～12月 想像・共感 ・様々な素材や道具に触れ自然物との関わりを深める。 ・
日々の生活の中での体験を通して気づいたり発見したりする。 ・想像力を広げ表現し、他者
に伝える。

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

・今までチョークを使って削って混ぜて自分の好きな色を作ったり、米粉粘土などにふりか
けて質感を楽しんでいる様子を踏まえ、今回は紙粘土やボンドを使って液体粘土を作ったり
する。液体粘土を段ボールにつけて描いたり、他の素材をくっつけたりする。子どものアイ
ディアから素材を組み合わせ構成し、立体工作などの多様な遊びにつながる機会をつくる。

2. 活動スケジュール

- ・活動…月2～4回の木曜日9：30～12：00頃まで
- ・事前打ち合わせ…毎週火曜日17：00～17：30 材料や環境設定について
- ・毎回活動後に講師と幼児クラス担当保育者が振り返る…活動日の13：45～14：30

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

毎回活動内容により、テーブルの配置、材料の置き方などの打ち合わせをする。

素材や道具…園庭や散歩で見つけた自然素材(落ち葉、枝、木の実、小石、砂) 空
き箱などのリサイクル素材 ヨーグルトやゼリーの空き箱 ペットボトル ペットボトル
キャップ ラップ芯 発泡トレイ トイレットペーパー芯 新聞紙 チラシ 段ボール 緩
衝材、梱包材、ラミネートフィルム 不織布 フェルト 裁縫針 布 毛糸 モール リボ
ン カラータイ ビニールテープ ボンド クリップ スズランテープ 折り紙 絵の具
油性ペン ボンドのり

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

・米粉を使って粘土を作る ・紙粘土や液体粘土を作り、そこにチョークや絵の具を混ぜて自分の好きな色を作る ・綿や毛糸をトロトロボンドにつけた後、巻きつけて形を作り固め乾燥させる ・クリップを使い、身近な素材（牛乳パック、紙コップ、空き箱など）と組み合わせ吊るしたり、引っ掛けて動かす ・不織布にリボン、毛糸などを両面テープでくっつけたり、ホッチキスや針を使い縫い合わせバックを作る ・葉っぱや小枝を収集し、ラミネートをする ・ラミネートした物に穴を開けオーナメントやメダルを作る ・収集した葉や小枝、実などを段ボールにつけて壁飾りを作る ・園庭の土の砂の他に、鹿沼土、赤玉土を加えて色の違いで園庭に描いたり、自然物を組み合わせてたり、土や砂それぞれの手触りや硬さを感じる。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

（活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等）

・粘土を作る過程で粉が舞う様子に気づく。できた粘土で動物を作ったり、食べ物に見立てる。・トロトロ粘土ではしばり袋に入れ、紙皿に模様を描く。・紙粘土の活動では、ちぎって丸めて、スプーンやフォークなどの素材も加える。紙皿にお団子を作って乗せたり、アイスクリーム屋さんになったりとごっこ遊びにもなっていた。・クリップで動かす活動や不織布を使う活動では、牛乳パックや紙コップで動物を作り、傾斜をつけた紐にひっかけて動かす。・自然物を使った活動では、金槌で木の実を割り中身を確認したり、段ボールにボンドでくっつけて飾る。・砂と土の活動では手触りなどの感触を楽しみ石や砂で模様を描いたり、すり鉢に入れた土に水を加え「粘土みたい」と変化を楽しむ。





5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

・自分のやりたいことをすぐに見つける姿もあり、友だちとやりとりしながらゲーム性のあるものへと変化していた。年少組は、道具を自分で選んで使う楽しさを感じている様子がみられた。今後、そこに集まった者同士のやりとりから新しい発見やゲーム性が深まる遊びへと広がってほしいと思う。工夫したり試していく中でイメージを作っていく様子もあった。また、作った作品を発表する場面では、その場で見聞きしているだけでも参加していた。

4. 活動のテーマ

<テーマ>

1月～3月 表現（共感と協働） 自分の作ったものやイメージ、感じたこと、思ったことを友だちに伝え、イメージを共有する。それぞれの好きなこと、得意なことを一緒に行う協働的な活動。相互に刺激し合い影響し合い自分なりに工夫する。

<テーマの設定理由>

（テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など）

- ・自ら考えた遊びのルールを共有し、さらに新しい遊びを作り出していき思い思いに楽しむ。
- ・お正月あそびから駒回しに興味を持ったことから、DVDにペンやシールで装飾し、駒を作る。DVD駒を回して模様の変化をおもしろがったり、光に当て、色の反射に気づいたりする。

2. 活動スケジュール

- ・活動…月2～4回の木曜日9：30～12：00頃まで
- ・事前打ち合わせ…毎週火曜日17：00～17：30 材料や環境設定について
- ・毎回活動後に講師と幼児クラス担当保育者が振り返る…活動日の13：45～14：30

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具) 身
身の回りにある道具やリサイクル素材(空き箱、食品容器、透明容器、ペットボトル、ペット
ボトルキャップ、トイレットペーパー芯、ラップ芯、発泡トレイ、段ボール、包装紙、チラ
シ、緩衝材など) 布 フェルト、毛糸、リボン、モール、カラータイ、スズランテープ、ク
リップ、割ピン、針金、ストロー、紙皿、紙コップ、ビニールテープ、ガムテープ、杉板、
金槌、釘、模造紙、障子紙、画用紙、厚紙、巻段ボール、折り紙、カラーセロハン、絵具、
油性ペン、水性ペン、はさみ、ホチキス、ボンド、のり

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

・DVDにペンや丸シールで模様を作ったり、絵を描きコマを作る ・丸型コースター、ペッ
トボトルのキャップなど丸い形を組み合わせる ・紙コップ、紙皿、ストローなどを組み合
わせぐるぐる回るものを作り動かして遊ぶ ・紙粘土を使い、形を作ったり色を混ぜたり、
ビーズやモールなどを埋め込んで変化を楽しむ ・杉板を土台にして釘を打ち込み、打ち込
んだ釘に輪ゴムや毛糸をひっかけ遊ぶ ・物と物を組み合わせ音の鳴る物を作る ・透明
テープにキラキラした紙、セロハン紙などを貼り、ベルトやブレーキなどを作る

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)
・コマ作りでは、画用紙をDVDと同じ形にくりぬいて貼り合わせたり、作ったコマで対戦を
したり、懐中電灯の光を当てて反射をさせ、虹色に光る様子を楽しむ ・ぐるぐる回る紙皿
では、回ると模様が変わることを喜んだり、高い場所から吊してみたり飛ばしたりする。
またコースターや牛乳パックではブンブンゴマを作り回していた。 ・紙コップやストロー
で組み合わせる活動では色々な物語があり、思い思いの物語を作り伝えていた。 ・木の活動で
は打ち込んだ釘が板に入っていく感覚を味わいながら、好きな形を描いた線の上に釘を打つ
・透明テープではキラキラベルト、リュックサック、お守りなど思い思いにイメージを膨ら
ませる



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

・3歳児が発表に参加するようになってきた。遊びのルールやイメージの共有ができ、ストーリー性のあるやりとりで遊びが持続するようになる。
・準備段階から期待感を持ったり、作品作りを通して協力する楽しさを感じていた。感覚の解放から心の開放へ向かい、回を追うごとに積極的に became. また、自分の作品を皆の前で発表したい気持ちが強まり、根気強く順番を待つ姿あった。